

令和8年4月22日

一般社団法人吉田町まちづくり公社 理事長 塚本昭二 様

吉田町議会議長

増田剛士



議会だよりの産業建設常任委員会報告について（回答）

記

1. まちづくり公社の視察に対する意見から議会だより第120号の「産業建設常任委員会報告」記載内容を選択した理由について（産業建設常任委員会 委員長 大石巖）

まちづくり公社の視察に対する意見につきましては、各委員からの提出を受け、11月12日の委員会でそれぞれ発表していただきました。さらに12月9日の委員会において、各委員からの意見を私が、①現状について、②課題について、③今後の方向性についての三つに分類・整理をし委員会にて報告し、その内容をもとに議会だより「産業建設常任委員会報告」の原稿記事として議会広報特別委員会に提出したものです。

各委員からは、現状において努力している点や環境整備、美観形成、情報発信などの取り組みを評価する意見も出されていきました。私は、委員会として今後の観光振興策についての方向性を町当局に提言するうえで論点となる事項が大事であると考え、議会だよりには主として町の施策に対する課題や今後の方向性に係る意見を中心に掲載しました。

従いまして、掲載内容に貴公社の現在の取り組みを否定する趣旨ではありません。

しかしながら、文章表現の拙さにより、結果として貴公社に対し批判的な印象を与えることになり大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

2. 「町はまちづくりの名にふさわしい施策を指示すべきではないか。」について（副委員長 平野 積）

私は、吉田町まちづくり公社が北オアシスパークの管理運営、美化活動、地域貢献活動など、地域を支える大切な役割を担っており、これらの活動は、町の賑わいづくりや町民の安全・安心、地域環境の維持にとって重要であると認識しています。

一方で、まちづくり公社設立時の議会答弁や町長メッセージなどから、防災と賑わいづくりを一体的に進める「シーガーデンシティ構想」の担い手として、情報発信、企業間連携、創業支援、地域内外の交流促進、賑わい創出など、幅広い役割を期待されていたと理解しております。

したがって、私の問題意識は、「現在のまちづくり公社の活動がまちづくりにふさわし

くない」と評価することではなく、現在担っていただいている重要な基礎的業務に加えて、設立時に掲げられた役割を今後どのように発揮していくのか、その方向性を町は整理することが必要ではないかという点です。

そのためには、町とまちづくり公社が設立時の趣旨を踏まえながら方向性を共有し、より一層連携していくことが重要であると考えています。

公社がこれまで果たしてこられた役割に敬意を持ちながら、今後さらに設立趣旨に沿った形で発展していただきたい、という期待を込めて申し上げたものです。

何卒、本趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。